

〈拠点形成活動〉情報基盤、評価システム、国際交流
学際コミュニケーション・サイエンスカフェ

代表者：小林 俊哉（科学技術開発戦略センター 准教授）

《成果報告》

2008年3月31日 現在

● 学際コミュニケーション論への展開

- 【平成17年度】 12月6・12・13・14・20日
 【平成18年度】 12月18・19・22日 / 1月9・11・15日
 【平成19年度】 9月5・6・7・14・18日

平成17年度は小林俊哉 准教授・岩崎敬（統合科学技術コース非常勤講師）にて担当した。
 平成18・19年度は、上記2名以外にイノベーション研究プロジェクト「コーディネーションのための知識表現法」メンバーであるマテリアルサイエンス研究科の堀秀信教授・小矢野幹夫准教授・岩崎秀夫教授が講師を担当し、本研究プロジェクト成果の実践を行った。



● サイエンスカフェの実施

- ◇第1回 2005年10月29日（土）・30日（日）石川県立大学響緑祭 参加者：37名
 「石川地域の環境・人・今」
 ①日本海を渡る黄砂と、私たち / ②宝ものの再発見—グリーンマップから—
- ◇第2回 2006年3月23日（木）石川県立寺井高等学校 参加者：76名
 「ケータイ安全・安心ミッション」
- ◇第3回 2006年6月3日（土）—本学オープンキャンパスにて実施 参加者：80名
 「相対性理論は間違っているか？—疑似科学、思いこみの科学—」
- ◇第4回 2006年10月28日（土）・29日（日）石川県立大学響緑祭 参加者：96名
 「風土からみた地域再生」
 ①北陸の気象—天気予報どう使う？— / ②地域再生を考える—にぎわいとは何か—
- ◇第5回 2007年5月26日（土）—本学オープンキャンパスにて実施 参加者：42名
 「カフェでサイエンス—JAIST生の新しい取り組み—」
- ◇第6回 2007年8月7日（火）能美市和気小学校 参加者：5年生 17名
 「液体窒素ってなんだろう？～「-196℃の世界へ」
- ◇第7回 2007年10月27日（土）・28日（日）石川県立大学響緑祭 参加者：40名
 「アートの子カラ」
 ①街と美術館 / ②知識創造としての芸術
- ◇第8回 2008年2月23日（土）能美市 根上総合文化会館 研修室 参加者：10名
 「有機ELによるホタルの光に似せた癒しの茶室空間」



○2007年7月7日（土）・9月8日（土）・12月8日（土）
 能美市連携プロジェクト・モバイルリテラシー教員研修会にて実施

● 発表論文

- 小林俊哉, 中森義輝, 緒方三郎: 「学際・文理融合としての『統合科学技術コース』における『学際コミュニケーション論』開発の現状と展望—北陸先端科学技術大学院大学21世紀COEプログラムにおける事例」, 研究・技術計画学会第21回年次研究大会講演要旨集 I, pp. 76-79, 2006
- 高木里実: 「学際コミュニケーション活動の本年度における実績と展望」, 知識創造場論集 第4巻 第1号, pp. 13-16, 2007
- 小林俊哉, 浅野浩央: 「生涯学習の場としてのサイエンスカフェ」, 知識創造場論集 第4巻 第5号, pp. 9-19, 2008.
- 小林俊哉, 緒方三郎: 「学際連携を支援するための学際コミュニケーション論—北陸先端科学技術大学院大学における実践」, 知識創造場論集 第4巻 第5号, pp. 28-37, 2008.

■ 研究メンバー ■

- 碓谷 勝 (ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 研究員)
 鶴岡 洋幸 (科学技術開発戦略センター 研究員)
 SUN, Jiasheng (知識科学研究科 博士後期課程 RA)
- 大仁田 耕一 (知識科学研究科 博士前期課程) 2007年9月まで
 武田 康裕 (知識科学研究科 博士前期課程)
- イノベーション研究プロジェクト-RA